

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年1月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	砺波市	代表者名	砺波市長 夏野 修
担当者部署	総務課情報政策班	連絡先電話番号	0763-33-1111
担当者役職		担当者氏名	
住所	9391398 富山県砺波市栄町7番3号		
		連絡先E-mail	

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	不破 泰
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	プログラミング教室開催にあたり、単に事務的な教室開催にとどまらず、プログラミングの意義や、これからの5Gなどの展望も含めて参加者へ説明して頂き、大変素晴らしい教室となったため。
アドバイザーへの要望事項	素晴らしい教室になりました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年12月14日	10時00分	15時10分	60	250
3-2. 派遣場所	会場名	砺波市立砺波図書館		最寄駅	砺波駅
	所在地	砺波市表町13-16			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

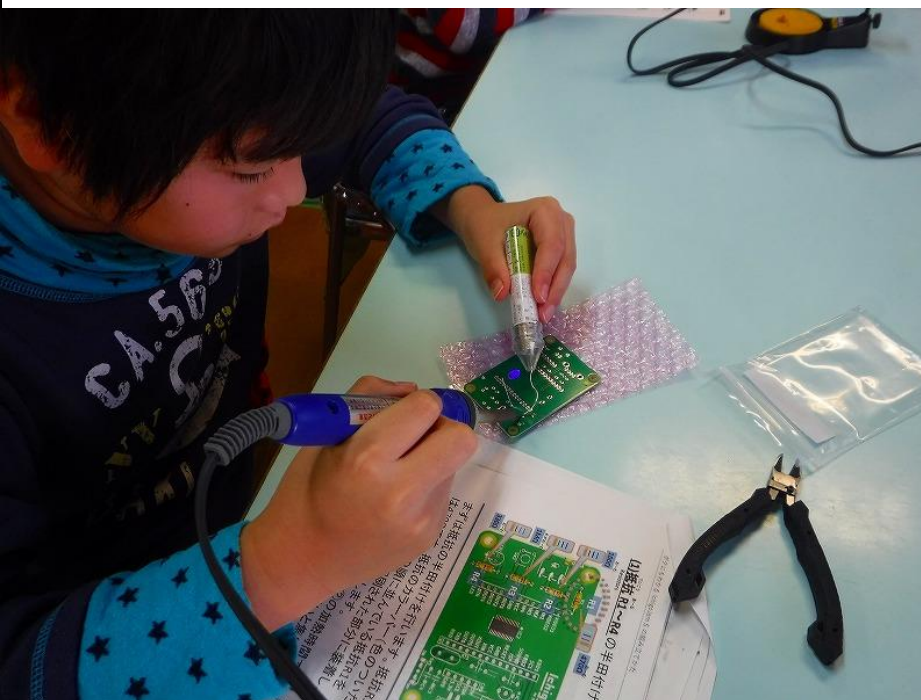
掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	教室参加者 (子供)、職員	22 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	オープンデータ推進事業を進める上で、将来の開発育成を目的として「こどもプログラミング教室」を開催するにあたり、専門的な知識を有する職員と経験が不足していること。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	「こどもプログラミング教室」を開催する上で必要な経験の蓄積や、職員がプログラミングを学ぶことを通じて今後のオープンデータ推進に繋げていきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「こどもプログラミング教室」において、1日目午前 (ミニパソコンichigojamの組立て)・午後 (プログラミングでミニゲーム作成) の講師として支援いただいた。ミニパソコンを組み立てる上での注意点や、プログラミングにおいては、プログラムの文字の意味を1文字ずつ説明していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	教室内容から、子供達のプログラミングスキルの習得に繋がり、将来的なICT人材育成の観点から、プログラミングを初めて行うにあたって、技術的にも知識的にも良い機会となった。また、職員にとってもプログラミングスキルの習得に繋がり、今後のオープンデータを推進する際のアプリケーション作成に役立つ。また、教室内容の経験蓄積になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは行っていない。 スキル開発教室開催事業のため、アンケート収集にそぐわないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	プログラミング教室参加者が、プログラミングに興味を持ち、また、プログラミングを通じて社会に還元していくこと。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年1月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	砺波市	代表者名	砺波市長 夏野 修
担当者部署	総務課情報政策班	連絡先電話番号	0763-33-1111
担当者役職	主任	担当者氏名	丹羽祐輔
住所	9391398 富山県砺波市米町7番3号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	不破 泰
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	プログラミング教室開催にあたり、単に事務的な教室開催にとどまらず、プログラミングの意義や、これからの5Gなどの展望も含めて参加者へ説明して頂き、大変素晴らしい教室となったため。
アドバイザーへの要望事項	素晴らしい教室になりました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年12月15日	10時00分	15時00分	60	240
3-2. 派遣場所	会場名	砺波市立砺波図書館		最寄駅	砺波駅
	所在地	砺波市表町13-16			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 教室参加者 (子供)、職員	人数 22 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	オープンデータ推進事業を進める上で、将来の開発育成を目的として「こどもプログラミング教室」を開催するにあたり、専門的な知識を有する職員と経験が不足していること。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	「こどもプログラミング教室」を開催する上で必要な経験の蓄積や、職員がプログラミングを学ぶことを通じて今後のオープンデータ推進に繋げていきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「こどもプログラミング教室」において、2日目 (プログラミングで水位センサーを使用し、水位を計測) の講師として支援いただいた。プログラミングにおいては、より実践的なプログラムを使用し、プログラミングを通じてどのように社会に役立てるか説明していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	教室内容から、子供達のプログラミングスキルの習得に繋がり、将来的なICT人材育成の観点から、プログラミングを初めて行うにあたって、技術的にも知識的にも良い機会となった。また、職員にとってもプログラミングスキルの習得に繋がり、今後のオープンデータを推進する際のアプリケーション作成に役立つ。また、教室内容の経験蓄積になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは行っていない。 スキル開発教室開催事業のため、アンケート収集にそぐわないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	プログラミング教室参加者が、プログラミングに興味を持ち、また、プログラミングを通じて社会に還元していくこと。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

